

東京都低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器認定委員会（令和5年度第4回）議事録

1 日時 令和6年3月25日 午前10時から正午まで

2 場所 WEBによるオンライン会議

3 出席者

（委員）津江委員長、上道委員、小林委員、松村委員

（東京都）木立課長、金子課長代理、高柳主任

4 議題

（1）低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器認定申請の状況

（2）低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器の認定審査

5 議事

○金子課長代理 それでは、定刻になりましたので、ただいまから令和5年度第4回東京都低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器認定委員会を始めさせていただきます。

私、事務局の金子です。よろしくお願いいたします。会議進行について、委員長に引き継ぐまでの間、本会議の進行をさせていただければと思います。

議事に入る前に、本日の会議についてご説明させていただきます。

この会議は、低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器認定委員会の組織及び運営に関する要領第7の規定に基づきまして公開となります。ただし、議事（2）の低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器の認定審査については、東京都情報公開条例第7条第3号に係る案件となりますので、こちらはいつもどおり非公開とさせていただきます。

また、同要領第8の規定に基づき議事録を作成し、東京都情報公開条例第7条各号に掲げる非開示情報に該当する部分を除き、原則として公開させていただきますので、お含みおきいただければと思います。

それでは、開会に当たりまして、大気保全課長の木立より一言ご挨拶させていただきたいと思います。

○木立課長 本日はお忙しい中、東京都低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器認定委員会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。大気保全課長の木立でございます。会議の開催に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。

東京都におきましては、都政の羅針盤となります「未来の東京」戦略というものを令和3年に策定しておりますが、ポストコロナを迎えた今、持続可能な未来への歩みを加速させるため、この「未来の東京」戦略をバージョンアップしたものを本年1月に公表いたしました。

この中の戦略14というのがありまして、この中で気候危機に立ち向かい、脱炭素化を加速するという分野がありますが、これにおきましては、再エネの実装化の加速とともに、エネルギー効率の最大化を徹底的に推進することとしております。本制度で認定されました高効率な燃焼機器が普及していくことで、このような脱炭素化の取組も促進できると考えております。

さて、本日の認定委員会では、蒸気ボイラー4型式、給湯器1型式の計5型式の認定審査を予定しております。前回と同様にウェブ開催のため、ご不便をおかけする点もあるかと存じますが、円滑な議事進行にご協力いただければと思います。

委員の皆様には、限られた時間ではございますが、忌憚のない意見、ご議論をいただきますようお願いしまして、私の挨拶とさせていただきます。

本日は、今年度最後の認定委員会となりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

○金子課長代理 続きまして、ウェブ会議の注意事項を3点ほど申し上げさせていただきます。

1点目なのですが、議事2に係る資料につきましては、情報セキュリティー対策のため、画面には映写できません。別途郵送しておりますので、紙資料ですとかデータのほうでご確認いただければと思います。

2点目なのですが、会議中は音声をミュートにいただきまして、ご発言の際はミュートを解除してご発言いただければと思います。また、会議中に音声が聞こえづらい等不具合がございましたら、随時、チャット等でも結構ですので、事務局までお知らせいただければと思います。

事前の説明は以上になります。

それでは、これ以降の議事進行につきましては、津江委員長にお願いしたいと思います。

委員長、よろしくお願いいたします。

○津江委員長 皆さん、おはようございます。

年度末のお忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございます。

それでは、早速議事のほうに入らせていただきます。

議事（１）の低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器の認定申請の状況について、事務局から資料の説明をお願いいたします。

○金子課長代理　ありがとうございます。

それでは、私、事務局の金子のほうから資料のほうを説明させていただきます。

画面のほうを共有させていただきます。

こちら資料の１になります。こちらを基に申請状況のほうをご説明したいと思います。

本日の説明なんですけど、先ほど挨拶でも説明させていただきましたとおり、蒸気ボイラーとして４型式、給湯器として１型式、計５型式の審査を予定しております。

なお、本日におきましては、ガスヒートポンプと内燃機関の申請はございませんでした。

続きまして、申請されました型式につきまして、それぞれの低NO_x対策について２枚目の資料でご説明のほうをさせていただきます。

蒸気ボイラーの４件につきましては、自己再循環ということで、排ガスを燃焼内に戻すことにより低酸素下をつくり、温度を下げるという対策について４型式とも実施しております。その他、空気比を変える濃淡燃焼ですとか２段階に分ける段階燃焼、また火炎を分割することにより低温化を図り、低NO_x化を図る等対策を行っております。

給湯器につきましては、濃淡燃焼ということで低NO_x対策が行われているという状況になっております。

続きまして、資料３枚目の効率向上対策についてご説明のほうをさせていただきます。

蒸気ボイラー４件につきましては、全てエコノマイザーの採用ということで、排熱をさらに水に伝えて加熱することによって高効率化を図るといった対策を講じております。その他、伝熱量の増加ということで１型式ございます。

また、給湯器につきましては、伝熱効率の向上ということで、また後ほどの資料でご説明できればと思うんですが、こちらの対策のほうを行うことで効率向上を図っているという状況でございます。

資料１の説明は以上になります。

○津江委員長　どうもありがとうございました。

特に何かお気づきの点とかございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、次の議事に入らせていただきたいと思います。議事（２）として、低NO

x・低CO₂小規模燃焼機器の認定審査については非公開というふうにさせていただきます。

(認定審査のため、非公開)

○津江委員長 本日の議事は以上となりますので、事務局のほうに議事進行をお返しします。

○金子課長代理 熱心な御議論をいただきましてありがとうございました。

続きまして、事務局のほうから連絡事項がございますので、高柳のほうからご説明させていただきます。

○高柳主任 高柳です。本日はありがとうございました。

毎回のことになりますけれども、先日お送りしました口座振替依頼書、それから電子データの入ったDVD等資料一式につきまして、お送りしたレターパックに同封してあります返信用のレターパックにて、事務局宛てにご返送のほどよろしくお願いいたします。

連絡事項は以上になります。

○金子課長代理 ありがとうございました。

それでは、今回、今年度の認定委員会につきましては最後となります。委員の先生方におきましては、お忙しい中ご出席のほうをいただきましてありがとうございました。

来年度も4回ほどまた委員会のほうを開催を予定しておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。開催日程につきましては、また事務局のほうから日程調整等もご連絡させていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、これをもちまして令和5年度第4回認定委員会のほうを終了させていただきます。

本日は長時間にわたりご議論いただきまして、ありがとうございました。